

美濃市に若い力を 「未来創造課」 武義高生 8 人に辞令交付

2025-04-19・中日新聞朝刊・14ページ

武藤鉄弘市長が一人一人に辞令を手渡し「必ずしも成功する必要はない。何年もちがって花開く取り組みもある。皆さんの若い力を発揮してほしい」と激励。自らリーダー就任を申し出た鈴木琢斗さん(17)が「高校生だからその発想を生かし、市民の生活がより良くなるよう、市職員の皆さんの力を借りながら活動した

美濃市内唯一の高校、武義高校の生徒でつくる市の「未来創造課」の辞令交付式が18日、市役所隣の市防災中央コミュニティセンターで開かれた。8人の高校生が新品の名札を首元にかけて初出勤した。

未来創造課は課題研究の授業の一環で、昨年度に完結した。インターンシップ(就業体験)としてビジネス情報科の3年生が毎週金曜の3〜6限目や授業後に市役所で勤務する。課長の呼称はリーダーに改める。

式後は市役所3階の未来創造課に移動し、武藤市長と本年度の取り組みや市の現状について話し合った。今後は市の課題を深掘りして、観光面の施策を中心に4人ずつに分かれ、2つの事業に並行して取り組む予定。(華原士文)

美濃市に若い力を

「未来創造課」武義高生8人に辞令交付



新品の名札を掲げる未来創造課職員の武義高生ら＝美濃市役所で

©中日新聞社 無断転載、複製、頒布等は著作権法により禁止されています。著作権は中日新聞社または契約通信社、友好社、外部筆者に帰属します。